

# 第22期 中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで



株式会社ティン

証券コード：7217

<http://www.tein.co.jp>

## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）におけるカーアフターマーケットは、個人の消費動向がますます多様化してきたことにより、自動車用品に対する購買意欲も分散化傾向が高まり、サスペンションについては、厳しい状況となりました。

このような情勢のもと、当社グループはお客様の多様なニーズに対応するため、販売力、技術力、コスト削減力の更なる強化や製品ラインナップの充実に取組み、売上高、利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

ここに当中間期の決算をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 当中間期の営業の経過

当中間期は、国内市場においては、人気のあるワゴン・ミニバン向けやスポーツカー向け新製品の発売および車種展開を増やしました。北米市場においては、日本車の人気上昇に伴い、日本のスポーツカー向けダンパーキットおよびスプリングの車種展開を増やしました。欧州においては、平成16年4月に英国現地子会社の営業を開始いたしました。

その結果、当中間期の連結売上高は前年同期比15.9%増の2,482百万円、経常利益は前年同期比38.3%増の497百万円、中間純利益は前年同期比42.0%増の285百万円となりました。

## 当中間期の研究開発活動

当中間期は、品質の向上と開発期間の短縮に注力した研究開発活動をおこないました。国内向けは新製品開発に、海外向けは車種展開を増やすことに注力いたしました。

## 基本経営方針

1. ROA重視の経営
2. 「セーフティー・ハイクオリティ・リーズナブルプライス」の商品を製造し、新たな市場を創造する
3. ユーザーの欲するものを、ユーザーの欲するときに、必要なだけ提供する
4. 客観的データに基づいて判断する

## 長期経営ビジョン

当社グループは、カーアフターマーケット向けサスペンションの専門メーカーとして、他社に先駆けた新製品の開発、国際的な価格競争力の実現および海外マーケットの創造と拡大によりサスペンション事業の売上高100億円を目指すことを、長期経営ビジョンとして掲げております。

## 事業概要

当社グループは、カーアフターマーケット向けに運動性能、快適性、スタイル性の向上を目的とした機能部品である自動車用サスペンション製品の製造、販売を主な内容として事業を展開しております。当社が製品を製造し、国内においては当社が小売店等を通じてお客様に販売し、北米地域および欧州地域においては、各地の子会社が小売店等を通じてお客様に販売しております。また、台湾の子会社は、アジア地域の当社製品用資材調達のための調査・調整活動をおこなっております。

## 関係会社の状況

名称	所在地	資本金	主な事業内容	当社出資比率
TEIN U.S.A.,INC.	米国	900千US\$	当社製品の販売	100%
TEIN UK LIMITED	英国	150千£	同上	100%
天御股份有限公司	台湾	7,000千NT\$	資材調達の調査・調整	100%

## 事業構造

全工程の軸足をお客様に置いた製品企画と一貫管理体制ならびに品質マネジメントシステムであるISO9001:2000等による高品質かつリーズナブルプライス製品をスピーディーに提供することで、多くのお客様の支持を得ております。また、創業以来自動車用サスペンション製品に経営資源を集中的に投下することにより、強固な収益基盤を築いております。

## 即日出荷体制

当社の生産計画は見込み生産をおこなっており、在庫があるものについては、受注後即日出荷を実施しております。

## 高品質・ネームバリューによるブランドの確立

平成11年に業界初となる製品保証制度の導入や、平成14年3月に全事業所において品質マネジメントシステムISO9001:2000を取得しました。また、レースやラリーに製品を協賛することで得られた先端技術を量産品にフィードバックし、高性能かつ高品質製品をお客様に提供することにより、高いブランド力を確立しております。

なお、当社の製品は一部の競技専用用品を除き全て車検に対応しております。

## 当中間期の主なトピックス

- 平成16年4月：・英国現地法人 TEIN UK LIMITED の営業を開始  
・米国現地法人 TEIN U.S.A.,INC.において600千US\$の増資
- 平成16年5月：・配当金算出方法の変更（連結決算を基準とし、配当性向を25%から30%に変更）
- 平成16年6月：・「TYPE-HTダンパーFt」の不具合に伴う部品交換の実施

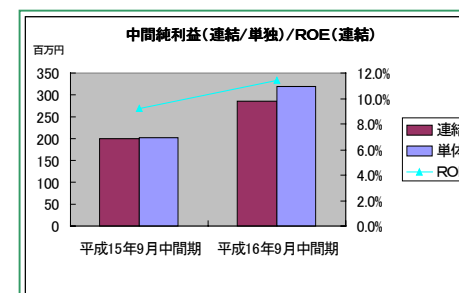
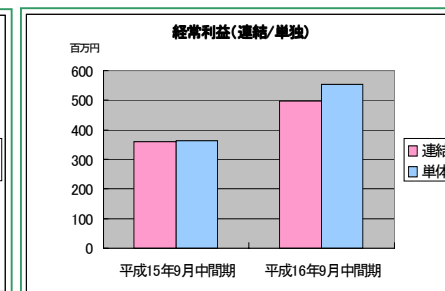
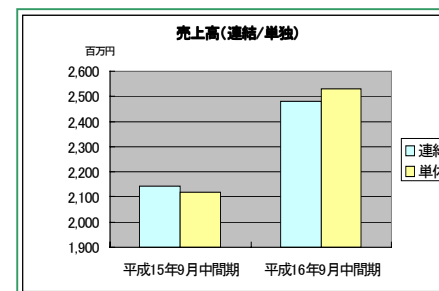
## 平成16年9月中間期 決算ハイライト

### 連結

科目	平成15年9月中間期			平成16年9月中間期		
	百万円	構成比	前期比	百万円	構成比	前期比
売上高	2,141	100.0%	7.5%	2,482	100.0%	15.9%
営業利益	383	17.9%	7.8%	474	19.1%	23.7%
経常利益	359	16.8%	8.7%	497	20.0%	38.3%
中間純利益	200	9.4%	7.1%	285	11.5%	42.0%
1株当たり中間純利益	30.18円	-	-	42.86円	-	-

### 単独

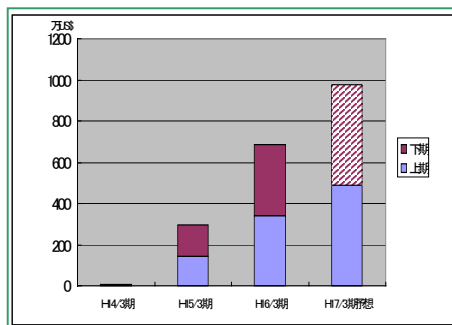
科目	平成15年9月中間期			平成16年9月中間期		
	百万円	構成比	前期比	百万円	構成比	前期比
売上高	2,120	100.0%	10.6%	2,529	100.0%	19.3%
営業利益	390	18.4%	3.7%	529	20.9%	35.5%
経常利益	365	17.2%	4.1%	553	21.9%	51.4%
中間純利益	202	9.6%	0.3%	319	12.6%	57.6%
1株当たり中間純利益	30.47円	-	-	48.02円	-	-



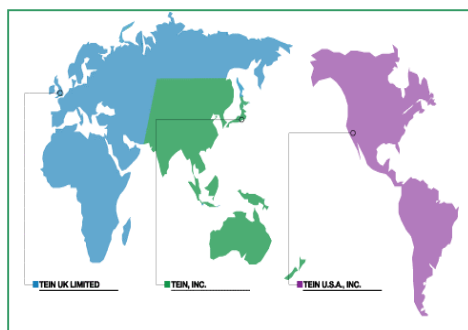
## 海外売上高

地域別	平成15年9月中間期		平成16年9月中間期	
	百万円	海外売上高の割合 %	百万円	海外売上高の割合 %
連結売上高	2,141	100.0	2,482	100.0
国内売上高	1,628	76.0	1,817	73.2
海外売上高 計	513	24.0	664	26.8
北米 (アメリカ、カナダ等)	401	18.7	535	21.6
アジア・オセアニア (台湾、香港、オーストラリア等)	103	4.9	79	3.2
欧州 (イギリス等)	8	0.4	50	2.0

## TEIN U.S.A.,INC.の売上高の推移 (単独)



## グローバルネットワーク



## 連結品目別売上高

科目	平成15年9月中間期			平成16年9月中間期		
	百万円	構成比 %	前期比 %	百万円	構成比 %	前期比 %
サスペンション製品	2,104	98.3	7.4	2,390	96.3	13.6
商 品	36	1.7	13.5	91	3.7	149.4
合 計	2,141	100.0	7.5	2,482	100.0	15.9

## サスペンション製品



ダンパーキット



スプリング



E D F C

## 商品



競技用ハーネス



競技用ヘルメット

## 日刊自用品大賞2002受賞 (機能・エクステリア部門)

「E D F C」は、カーアフターマーケット向けでは初めとなる座席に座ったままで減衰力の調整ができる製品であることが話題を集め、市場での評価も高かったこと等により、日刊自動車新聞社の主催する用品大賞を2002年5月に受賞いたしました。

## 損益計算書

科目	(連 結)		(連 結)		(単 独)		(単 独)	
	平成15年9月中間期	平成16年9月中間期	平成15年9月中間期	平成16年9月中間期	平成15年9月中間期	平成16年9月中間期	平成15年9月中間期	平成16年9月中間期
	百万円	構成比 %	百万円	構成比 %	百万円	構成比 %	百万円	構成比 %
売上高	2,141	100.0	2,482	100.0	2,120	100.0	2,529	100.0
売上原価	1,084	50.7	1,198	48.3	1,136	53.6	1,330	52.6
売上総利益	1,056	49.3	1,283	51.7	983	46.4	1,198	47.4
販売費及び一般管理費	672	31.4	808	32.6	593	28.0	669	26.5
営業利益	383	17.9	474	19.1	390	18.4	529	20.9
営業外収益	7	0.3	23	0.9	7	0.4	25	1.0
営業外費用	31	1.4	1	0.0	32	1.6	0	0.0
経常利益	359	16.8	497	20.0	365	17.2	553	21.9
特別利益	4	0.2	0	0.0	2	0.2	-	-
特別損失	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
税金等調整前中間純利益	362	16.9	496	20.0	367	17.4	553	21.9
法人税、住民税及び事業税	161	7.5	211	8.5	165	7.8	234	9.3
中間純利益	200	9.4	285	11.5	202	9.6	319	12.6
前期繰越利益	-	-	-	-	313	-	363	-
中間未処分利益	-	-	-	-	516	-	682	-

### 連結販売管理費

科 目	平成 15 年 9 月中間期	平成 16 年 9 月中間期
	百万円	百万円
広告宣伝費	67	74
販売促進費	15	48
役員報酬	48	42
給与手当	135	166
賞与	58	75
退職給付費用	3	4
役員退職慰労金引当繰入額	4	4
減価償却費	10	11
研究開発費	139	151
その他	188	228
合 計	672	808

### 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科 目	平成 15 年 9 月中間期	平成 16 年 9 月中間期
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	406	498
投資活動によるキャッシュ・フロー	102	30
財務活動によるキャッシュ・フロー	82	93
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	6
現金及び現金同等物の増減額（減少：）	220	380
現金及び現金同等物の期首残高	1,033	1,040
連結子会社の決算期変更による期首残高増減額	50	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,203	1,421

### 貸借対照表の主な内容

科 目	(連 結)				(単 独)			
	平成 15 年 9 月中間期		平成 16 年 9 月中間期		平成 15 年 9 月中間期		平成 16 年 9 月中間期	
	百万円	構成比	百万円	構成比	百万円	構成比	百万円	構成比
流動資産	2,377	75.8	2,969	80.7	2,361	74.3	2,870	76.1
現金及び預金	1,203		1,421		1,172		1,257	
売掛金	263		301		464		686	
有価証券	-		50		-		-	
たな卸資産	768		987		612		689	
その他	147		209		125		238	
貸倒引当金	6		0		12		0	
固定資産	760	24.2	710	19.3	818	25.7	899	23.9
有形固定資産	454		421		437		393	
機械装置及び運搬具	320		306		274		261	
その他	134		115		163		132	
無形固定資産	17		20		17		20	
投資その他の資産	287		267		363		485	
資産合計	3,138	100.0	3,679	100.0	3,179	100.0	3,769	100.0
流動負債	718	22.9	936	25.5	718	22.6	933	24.8
買掛金	245		346		249		351	
未払費用	169		196		165		192	
未払法人税等	180		266		180		266	
その他	122		125		122		123	
固定負債	228	7.3	240	6.5	228	7.2	236	6.3
退職給付引当金	59		73		59		73	
役員退職慰労引当金	84		93		84		93	
その他	85		72		85		69	
負債合計	947	30.2	1,176	32.0	946	29.8	1,170	31.1
資本金	217	6.9	217	5.9	217	6.8	217	5.8
資本剰余金	215	6.9	215	5.8	215	6.8	215	5.7
利益剰余金	1,765	56.2	2,075	56.4	1,800	56.6	2,166	57.5
為替換算調整勘定	7	0.2	4	0.1	-	-	-	-
自己株式	0	0.0	1	0.0	0	0.0	1	0.1
資本合計	2,190	69.8	2,503	68.0	2,232	70.2	2,598	68.9
負債・資本合計	3,138	100.0	3,679	100.0	3,179	100.0	3,769	100.0

## 今後の見通しと対処すべき課題

今後の世界情勢、原油価格および為替の動向などグローバルな経営環境においては、国内外ともに予断を許さない厳しい状況が続くものと思われま。

このような中、当社グループでは、次の3つの事業戦略を最重要課題として取り組んでまいります。

戦略1 高付加価値製品の開発	電子制御製品「EDFC（車内よりリモートコントロールで減衰力調整をする機構）」をより多くの車種へ展開 油圧制御製品「HYBRID WAGON ダンパー（車内よりリモートコントロールで車高を調整する機構）」をより多くの車種へ展開 既存の電子制御製品の更なる高度な制御機構を追加
戦略2 海外市場の拡大	北米市場の更なる拡大 英国販売拠点の設置を足掛かりに欧州市場を開拓
戦略3 コスト削減の推進	資材等の最適調達による購買原価の低減 海外生産工場を視野に入れた製造原価の低減

## 主な新製品のご紹介

### 平成16年 3月発売：SUPER STREET ダンパー

当社の国際戦略モデルであるスポーツカー用の入門者向けダンパーキット



### 平成16年 4月発売：HYBRID WAGON ダンパー

当社製品の特長である車高調整機構を油圧により車内からリモートコントロールで車高調整が可能なダンパーキット



## 株式情報（平成16年9月30日現在）

会社が発行する株式の総数 26,609,000株

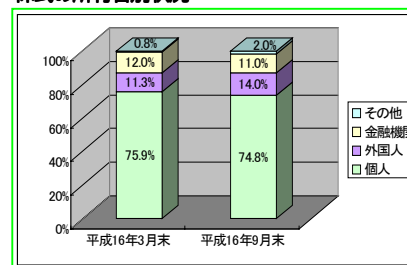
発行済株式数 6,652,250株

株主数 302名

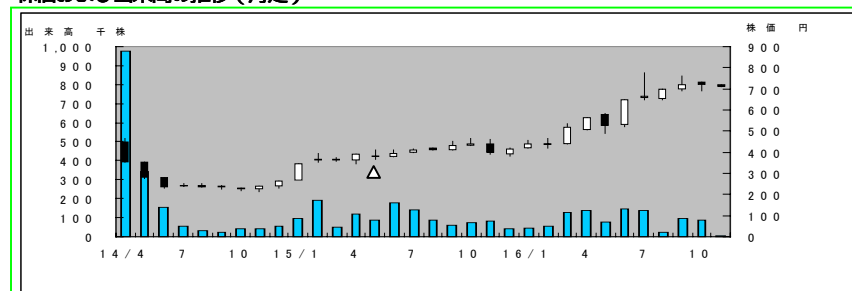
### 大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
市野 諒	2,960,000	44.6%
ゴールドマン サックス インターナショナル	897,000	13.5%
藤本 吉郎	497,500	7.5%
市野 ルリ子	250,000	3.8%
株式会社横浜銀行	195,000	2.9%
日本生命保険相互会社	195,000	2.9%
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	194,000	2.9%
小島 宣保	151,000	2.3%
市野 澄恵	136,500	2.0%
東京海上火災保険株式会社	78,000	1.2%

## 株式の所有者別状況



## 株価および出来高の推移（月足）



注 △印：平成15年5月に株式分割(1株を2株)におこなっておりますので、分割実施前の終値を分割後の値に調整した「調整後終値」として表示しております。

## 役員（平成16年9月30日現在）



代表取締役社長	市野 諒	取締役	武井 共夫
専務取締役	藤本 吉郎	監査役(常勤)	中嶋 敦
取締役	那須 賢司	監査役	奥川 貞夫

取締役 武井共夫は、商法第188条2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。

## 会社概要

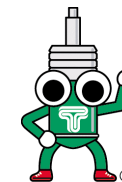
本 社：横浜市戸塚区上矢部町 995 番 1 電話 (045) 810 - 5511 (代)  
設 立：昭和 60 年 2 月 28 日  
資 本 金：2 億 1,755 万円  
事 業 所：本社工場 (横浜)、営業所 (仙台、北関東、横浜、名古屋、大阪、福岡)  
従業員数：131 名

## 株主メモ

決算期 3 月 31 日  
株主確定基準日 定時株主総会・利益配当金 3 月 31 日  
その他必要があるときは、予め予告いたします。  
定時株主総会 6 月  
公告掲載新聞 日本経済新聞  
(決算公告は、当社のホームページ <http://www.tein.co.jp/ir.html> に掲載しております。)  
名義書換代理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 2 番 4 号  
日本証券代行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 2 番 4 号  
日本証券代行株式会社 本店  
郵便物送付先 〒137-8650 東京都江東区塩浜 2 丁目 8 番 1 8 号  
お問合せ先 日本証券代行株式会社 代理人部  
(住所変更等用紙のご請求)  0120 - 707 - 842  
(その他のご照会)  0120 - 707 - 843  
株式お手続き用紙のご請求を、インターネットでも受け付けております。  
ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>  
\*「お手続き用紙のご請求」をご参照願います。  
同 取 次 所 日本証券代行株式会社

## メールサービスについてのご案内

投資家の皆様の利便性向上を図るため、「情報開示メールサービス」をおこなっております。  
ご利用方法は、下記弊社ホームページでご確認ください。  
<http://www.tein.co.jp/ir.html>



テインの信頼と実績の象徴、「ダンパッチ」です。

株式会社テイン